

東京外国語大学 英語

2012年2月25日施行

1

1.

〈解答例1〉 勝者は、不屈の体力などの傑出した身体能力に加えて、不安や疑いに打ち勝ち、そうした能力をありのままに発揮することを妨げないような精神力を持っているのに対し、敗者はそうした精神力が欠けていること。(96字)

〈解答例2〉 才能の有無と、恐怖心や疑念や不安感がその能力の発揮を妨げるか否かが勝者敗者の分かれ目になる。さらに少量のコルチゾールと相当量のテストステロンというホルモンが生理的に勝者を支えることが最近分かった。(98字)

2.

〈解答例1〉 スポーツやその他の分野で、何故ある特定の人間が繰り返し勝者になるのかということ。
(40字)

〈解答例2〉 何度も勝利を収める者が存在する理由を説明する鍵となる化学物質の存在に関して。
(39字)

3.

〈解答例1〉 自分が勝利すると同時に他者が失敗する、または自分よりも劣る結果を出すこと。(37字)
〈解答例2〉 勝利そのものよりも、乏しい可能性を克服した結果がより大きな喜びをもたらす。(37字)

4.

〈解答例1〉 人間の脳は常に「実際に起ったこと」と「起り得たこと」を比較するもので、銅メダリストはメダルを逃した可能性を考え喜びを増すのに対し、銀メダリストは金メダルを獲得できた可能性を考えて悔しがるから。(96字)

〈解答例2〉 人は常に起ったことと起り得たことを頭の中で比較する。銀メダルを取った選手は金メダルを取れなかつたことを悔やみ、銅メダルを取った者は、取れなかつたかも知れない負の可能性の克服に喜びを見出すから。(96字)

5.

〈解答例1〉 第2次大戦のノルマンディー上陸作戦でアメリカ軍側が勝利したことは良く知られた事実であるということ。(49字)

〈解答例2〉 翌日のノルマンディー上陸作戦が成功裡に終わり、アメリカを含む連合軍側の勝利が周知の事実であること。(49字)

6.

〈解答例1〉 競合者に自分自身を重ね合わせて間接的に戦いに参加することで、応援する側に起る勝利を自分に起った勝利のように感じるから。(59字)

〈解答例2〉 聽いて応援している者も、勝利によってテストステロンの分泌が高まるほど当事者心理を自らに投影するから。(50字)

2

- | | | | | |
|------------------|-------------|------------------|---------------|----------------|
| ①コ (sentence) | ②キ (little) | ③才 (hesitating) | ④ク (referred) | ⑤ウ (dictation) |
| ⑥イ (association) | ⑦ア (act) | ⑧カ (imagination) | ⑨ケ (saying) | ⑩エ (helping) |

3

- (1)カ (2)イ (3)ウ (4)才 (5)エ (6)キ (7)ク (8)ケ

4 省略

5 省略

6 省略

【出題傾向】

形式・出題傾向共にここ数年の問題を踏襲したものとなっている。大問1の論述問題は昨年よりもやや易しくなった代わりに、空所補充問題の大問2と3は昨年よりもやや難度があがり、全体としては昨年並みといえる。基本的に以下のような言語運用能力が、多面的に試されている。

- (1) 英語を読んで日本語で表現する — 1
- (2) 英語を英語として理解する — 2 3 5 6
- (3) 日本語を読んで英語で表現する — 4

つまり、英語と日本語という二つの異なる言語を連動して横断的に使いこなすことが求められる試験と言える。

トフルゼミナール英語教育研究所